

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 体験活動参加型(小学校)

学校名等	大垣市立安井小学校
実施日時	令和7年8月6日(水)追加開催11月16日(日)
会場	GURUMAN VITAL パンの森
参加人数	16組(40名)
学習課題(分野)	親子でパンづくり体験(自立心・命の大切さ・家族の大切さ)
運営者の願い	パンづくり体験を通して、子どもたちが食に興味をもち、食べ物の大切さを学びきっかけづくりとすること、また、親子で一緒に料理をすることで家庭でのコミュニケーションを深め、食に関する知識や技術を共有する貴重な時間を提供したいと考えた。 地元のパン屋さんで開催することで、地元の魅力を見つけ、職人の食への真摯なこだわりを知り、夢中になれる仕事を見つけるきっかけづくりにした。
学習の内容	

### < 日程 >

10:50~受付開始

11:00~12:00 パン作り

12:00~13:00 パン屋さんでショッピング・食事(パンの発酵・焼き)

13:00~13:30 パンの箱詰め

- ※ 現地集合・現地解散で開催
- ※ エプロン・三角巾・タオルは持参
- ※ 水分補給の飲み物は役員が受付時に配布

### < 追加での開催 >

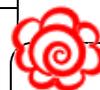
定員の4倍の募集があったため、追加開催を行った。追加開催も募集人数を上回る応募があった。初回の申し込みは紙面で募ったため、低学年では用紙の紛失があった。追加開催では申し込みをインターネットに変更したため、申し込みの不備は発生しなかった。

### < 取組の様子 >

始めに、職人さんが説明した。参加者は親子又は友達と職人さんの周囲に集まり、パンの成形していく工程を見た。次に事前に用意してあった生地を持って親子でパンの成形を行い、鉄板に並べた。全員が作り終わったら、次の職人さんの周囲に集まり、次のパンの説明を聞いた。パンは全4種類成形した。1つのパンは説明から鉄板に並べるまで15分ほどであった。

### < アンケートより >

- ・ 家では準備が大変なパン作りを子どもと楽しくできて良かった。
- ・ パン屋さんで作れるということがなかなか体験できないことだったので、今後もあれば参加したい。
- ・ 子どもが2人いたため、どっちが作るかケンカになった。子ども1人にパン4個が作れたらもっとよかった。
- ・ 発酵や焼いている時間はパン屋さんを見ることができて楽しかった。



### 開催日の工夫

夏休みは子ども向けイベントが多く開かれるため、子どもたちも時間がとれる夏休みに開催した。

追加開催は、夏休み終了後であったため、第3日曜日の家庭の日に開催した。



### 個性が際立つパン

同じ材料でも中味の量やはさみの入れ方で焼き上がりが変わっていた。それぞれの個性が際立つパンが完成した。